

かせん 「河川のしごと」について

なげ かわ
ふだん、何気なく目にする大きな河や、小さな川。

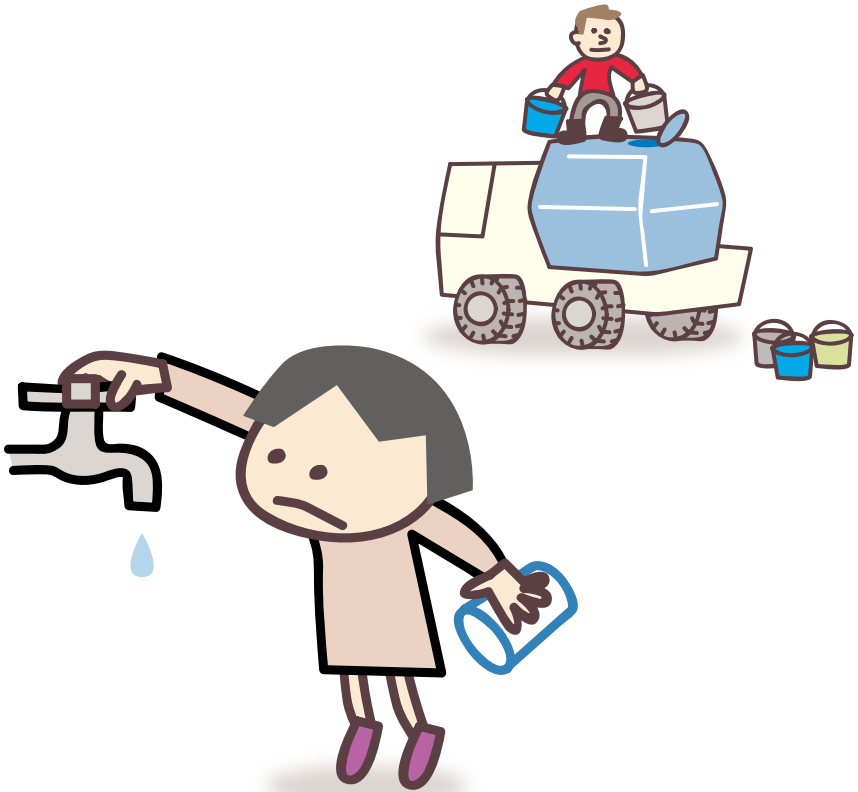
もちろん、その水の流れは自然のものです、
そのかわの“かたち”の多くは、
人がつくりあげてきたということをご存じでしょうか？

ここでは、そのことについて、
かんが
少し考えてみたいと思います。



水のないまち？

もし、川から水が来なかったり……？



すいがい おお
水害の多いまち？

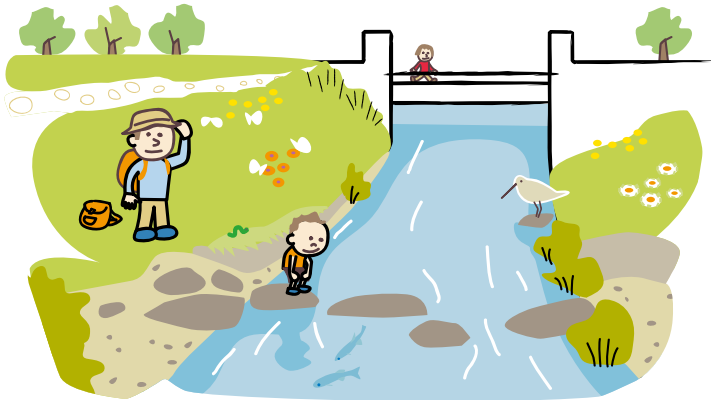
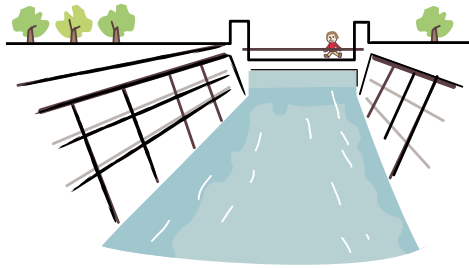
もし、「川」に手をくわを加えなければ、
わたしたちの暮らしは、どうなってしまうのでしょうか？



あそ
かわで遊べないまち？

した
かんが
川との親しみ方をきちんと考えれば、こんなところも…

しぜん ゆた
自然が豊かな川にできるかもしれません。



ひよっとすると…

「水」^{つか}が
使えなかつたり、

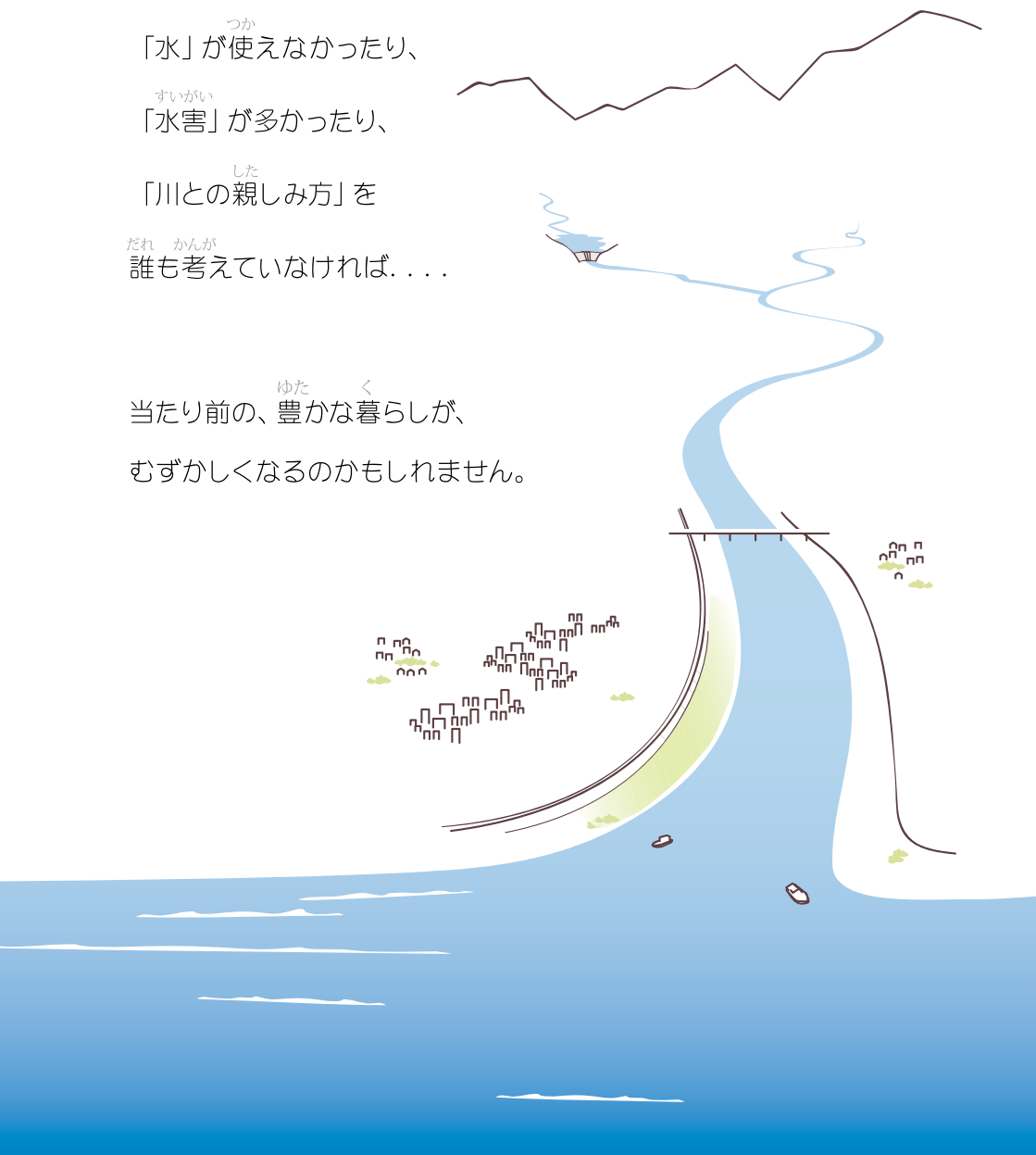
「水害」^{すいがい}が多かつたり、

「川との親しみ方」^{した}を

だれ ^{かんが}も
考えていなければ…

当たり前の、^{ゆた}豊かな^く暮らしが、

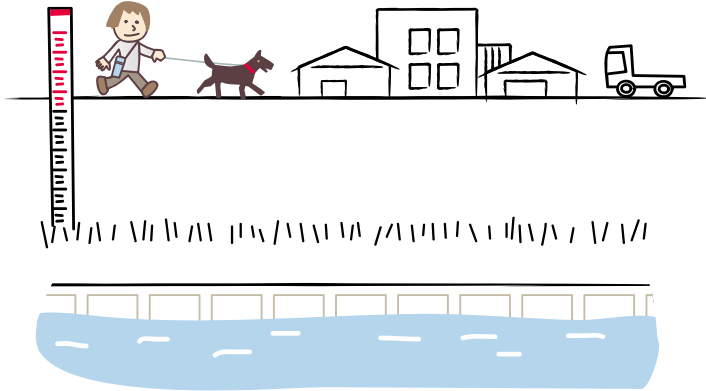
むずかしくなるのかもしれない。



ふつう く
「普通の暮らし」のために、

かせん かんが
河川のことについて考えていくごと、

かせん
それが「河川のしごと」です。



JAPAN SOCIETY OF CIVIL ENGINEERS
〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目 外濠公園内
TEL:03-3355-3441 FAX:03-5379-0125
E-mail:inf@jsce.or.jp

さし絵:新森紀子